

広島市歯科医師会だより



9月号

Hiroshima City Dental Association

No.173 (R3.9.14)



目次

予告 令和3年度 学校歯科医協議会	1 ページ
行事報告	
令和3年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会	2 ページ
令和3年度 広島市歯科医師会保険講習会	2 ページ
第3回 支部長・副支部長会議	3 ページ
広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会	4 ページ
広島市歯科医療福祉対策協議会 総会	5 ページ
支部だより	
中区支部	5 ページ
東区支部	6 ページ
会員ひろば	
新入会員紹介	7 ページ
おしらせ	8 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	8 ページ
令和2年度学校保健統計調査 ～広島県の12歳児 DMFT は0.7～(地域歯科保健部)	9 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	10 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	13 ページ
YouTube(広報部)	13 ページ
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)	14 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	15 ページ
会長コラム『柔しく剛く』緊急事態宣言と各種健診事業について	16 ページ
8月定例理事会報告	17 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集	19 ページ

予告

令和3年度 学校歯科医協議会

春より延期しておりました今年度の学校歯科医協議会を下記の日程、内容にて開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況による開催予定変更の可能性について予めご了承ください。

記

日 時 令和3年11月18日(木) 午後7時
場 所 広島県歯科医師会館 2F ハーモニーホール
内 容

1. 退任学校歯科医への感謝状贈呈
2. 新任学校歯科医紹介
3. 講演会

演 題 「子どもの口は、ふしぎでいっぱい」

講 師 国立モンゴル医科大学 客員教授 岡崎好秀先生

【講師略歴】

1978年愛知学院大学歯学部卒業 同年大阪大学歯学部小児歯科を経て

1984年より岡山大学病院 小児歯科 講師(歯学博士 岡山大学)

2013年4月より 国立モンゴル医学科学大学 客員教授

2017年4月～2020年3月 岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター
診療講師

専門：小児歯科・障がい児歯科・健康教育

所属学会：日本小児歯科学会：指導医、日本障害者歯科学会：認定医、
日本口腔衛生学会：認定医

主な著書：①世界最強の歯科保健指導 上・中巻 クインテッセンス出版
②謎解き口腔機能学 クインテッセンス出版
③口の中はふしぎがいっぱい エピソードI・II・III・IV・V 松風
④小児歯科診療最前線！ 子どもを泣かさない17の裏ワザ
クインテッセンス出版
⑤カミカミ唾液学 少年写真新聞社
⑥クイズで語る おもしろ防煙教育最前線 東山書房
⑦おもしろ カミカミうんち学 少年写真新聞社 他 多数

4. その他

※開会は午後7時となっております。お間違えのないようお願いいたします。

※ご出席のお申し込みは、10月配布予定の用紙をご使用ください。

※本講演会は本会会員診療所に勤務するスタッフの方にもご参加いただくことができます。

行事報告

令和3年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会

日時：7月30日(金) 午後7時30分

場所：広島市役所 2階「講堂」

標記の会が開催され、今年度の広島市学校保健功労者の表彰・永年勤務の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対する感謝状・広島市学校保健推進学校の表彰・広島市学校保健研究物の表彰について審査が行われた。その結果、本会会員の本年度の受賞が下表の通り決定された。

例年は広島市学校保健大会において受賞式が執り行わ

れるが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため昨年に続き本年度も同大会は中止された。そのため、授賞式は各学校において行われることになった。

なお、本会議には石田一輝理事及び濱岡代枝地域歯科保健部副委員長が出席した。

広島市学校保健功労者表彰

己斐小学校 石田 栄作 先生 牛田小学校 能美 和基 先生

永年勤務の学校歯科医に対する感謝状授与

吉島東小学校 平野 隆司 先生 二葉中学校 平岡 弘光 先生

令和3年度 広島市歯科医師会保険講習会

日時：8月4日(水)、8月18日(水) 午後7時30分

場所：広島県歯科医師会館 2階「ハーモニーホール」

今年も、密を避けるため2回に分けて標記の会が行われた。4日は講師に森本進県歯会保険部長・川本博也県歯会常務理事、18日には森本進県歯会保険部長・二井亮県歯会理事をお迎えし、両日ともマスク着用・手指消毒・体温測定・換気等の新型コロナ感染対策を十分に行った。熊谷宏会長による挨拶の後、講師より「保険算定上の留

意点」という演題のもと、保険請求のポイントなどについてわかりやすく解説をして頂いた。本講習会には4日が86名、18日が86名の出席があり、会員の正しい保険請求の一助となった。最後に瓜生賢副会長が閉会の辞を述べ終了となった。



(左) 講演の様子 (右) 講演をする森本進県歯会保険部長

第3回 支部長・副支部長会議

日時：8月18日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会 2階「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席し、標記の会が開催された。

熊谷会長より「今回は、新しく支部長、副支部長になられた先生を加えた新しい支部長・副支部長会議のメンバーだけの初めての会議です。どうぞよろしく願いいたします。本日も新型コロナウイルス感染症の影響を受けての協議事項がありますので、慎重審議の程よろしく願いいたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 6月16日 第2回支部長・副支部長会
- 6月19日 連盟理事会、連盟評議員会、デンタルミーティング
- 6月25日 中区地域保健対策協議会理事会
- 6月26日 第114回定時総会
- 7月5日 ソフトボール運営協議会(Zoom)
- 7月12日 吉島圏域多職種連携会議小委員会
- 7月16日 幟町圏域多職種連携会議(Zoom)
- 7月30日 幟町圏域多職種連携会議
- 7月31日 国保組合会・互助会総代会
- 8月11日 中区地域保健対策協議会同行研修

東区支部

- 6月16日 第2回支部長・副支部長会
- 6月26日 第114回定時総会(書面決議)
- 7月2日 健康ソフトボール大会運営についての会議(Zoom)
- 7月9日 広島市東区医師会研修会
- 7月31日 国保組合会・互助会総代会

南区支部

- 6月16日 第2回支部長・副支部長会
- 6月26日 第114回定時総会
- 7月19日 南区支部理事会
- 7月30日 広島市南区地域保健対策協議会
第1回常任理事会・理事会(Zoom)
- 7月31日 国保組合会・互助会総代会

西区支部

- 6月16日 第2回支部長・副支部長会
- 6月17日 第9回医療と介護の連携会議(Zoom)
- 6月19日 連盟理事会、連盟評議員会、デンタルミーティング
- 6月23日 令和3年度第1回オンライン中広圏域多職種連携研修会(Zoom)
- 6月24日 己斐己斐上圏域第14回医療と介護の連携に関する意見交換会(Zoom)
- 6月26日 第114回定時総会
- 7月31日 国保組合会・互助会総代会

執行部

- ・学校健診について
- ・広島市歯科医療福祉対策協議会総会について

協 議

①中 区

- ・新型コロナウイルス陽性患者が、クリニック受診した際の注意事項
- ・新型コロナウイルス患者増加におけるイベント等のあり方について(ソフトボール練習を含む)
- ・コロナ禍における入会面談について

②執行部

- ・支部運営について
- ・第114回定時総会について
- ・歯科医師によるワクチン接種について
- ・学校健診及び乳幼児健診について

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会

日時：8月28日(土)午後5時

場所：県歯会館 6階「601・602会議室」

標記の会が開催された。新型コロナウイルス感染予防対策としてマスク着用の上、会場の換気を行いながら能美和基専務理事の開会の辞、熊谷宏会長の挨拶の後、令和2年度広島市休日等歯科救急医療事業、在宅訪問歯科健診・診療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業の報告・議事事項の確認が行われた。

そのほかの報告として広島市域での医療相談・苦情相談の報告があった。議事事項として、第1号議案令和2年度広島市休日等歯科救急医療事業収支決算について承認を求める件、第2号議案令和2年度在宅訪問歯科健診・診療事業収支決算について承認を求める件、第3号議案

令和2年度妊婦歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件、第4号議案令和2年度節目年齢歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件が説明され、書面決議となった令和3年広島市歯科医療福祉対策協議会総会への上程が承認された。

協議事項として、歯科医師による新型コロナワクチン集団接種について、緊急事態宣言下における乳幼児健診、学校歯科健診について、令和3年度の講演会開催(安芸歯科医師会主催)の有無に関しては、緊急事態宣言を鑑み延期または中止を判断することになった。

最後に澤村豊副会長の閉会の辞により終了した。

役員			委員	
職名	氏名	支部	氏名	支部
会長	熊谷 宏	広島市	波田 佳範	広島市
副会長	松本 浩一	安 佐	香川 次郎	〃
	栗栖 文夫	佐 伯	宮村 健一	〃
	澤村 豊	安 芸	前島真紀子	〃
	瓜生 賢	広島市	河原 利哉	〃
専務理事 理事	能美 和基	〃	内田 雄士	〃
	若林 大輔	〃	田中 信吾	〃
	森本 慎樹	〃	佐久間光俊	〃
	藤田 友昭	〃	前田 羊一	〃
	水内 裕之	〃	中川 誠	〃
	石田 一輝	〃	森川 英彦	〃
	横引 昌樹	安 佐	豊田 育星	〃
	桑原 一通	〃	武田 泰三	安 佐
	加島 弘之	〃	瀬川 和司	〃
	上田 浩大	佐 伯	山脇 典士	〃
	藤井 宗仁	〃	川添 祐亮	〃
	兼池 宏治	〃	大原 将史	佐 伯
	梶川 正文	安 芸	河野 敦志	〃
	山田 純	〃	藤田 裕樹	〃
	野村 俊夫	〃	半澤 泰紀	〃
	監事	椿田 直也	広島市	児玉 正治
野村 昌利		安 芸	高山 智行	〃
			藤井 良典	〃
		新谷 宏規 (オブザーバー)	〃	



役員会の様子

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会

日時：8月28日(土) 書面開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回の総会は書面表決となった。

1 報告事項

- (1) 令和2年度広島市休日等歯科救急医療事業 事業報告について
- (2) 令和2年度在宅訪問歯科健診・診療事業 事業報告について
- (3) 令和2年度妊婦歯科健康診査事業 事業報告について
- (4) 令和2年度節目年齢歯科健康診査事業 事業報告について
- (5) その他

1 議事事項

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 第1号議案 | 令和2年度広島市休日等歯科救急医療事業収支決算について承認を求める件 |
| 第2号議案 | 令和2年度在宅訪問歯科健診・診療事業収支決算について承認を求める件 |
| 第3号議案 | 令和2年度妊婦歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件 |
| 第4号議案 | 令和2年度節目年齢歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件 |
| 第5号議案 | その他の案件 |

すべての議案が可決承認された。

支部だより

中区支部

令和3年度 第1回 幟町圏域多職種連携会議

日時：7月30日(金) 午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

多職種が連携することにより地域の高齢者が在宅で安心して生活できる事を目指し、標記の会が開催された。この度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、現地参加を幟町圏域の対象者30名に限定し、他圏域の関係者に対しては後日オンデマンドWeb配信により公開するハイブリッド形式で行われた。

大橋信之の幟町圏域在宅医療推進リーダー医による開会挨拶の後、森美菜子広島大学病院感染制御部副部長より「新型コロナウイルス感染症対策 ～感染管理認定看護師の立場から～」と題して講演が行われた。

COVID-19対策として、クラスター予防のための日常的な感染対策や、COVID-19疑い、確定患者対応時の感染対策、院内、施設内で陽性者が出た時の対応など、広島大学での事例を挙げ判りやすく解説された。日頃から職員

による持込を防ぐことや、職場での様々なシミュレーションを行うことなど、標準予防策のレベルアップが重要であることが良く分かった。

なおこの会議には中区支部より香川次郎副支部長、大石正臣氏、森田薫氏が参加した。



会議に参加した香川次郎副支部長と
森美菜子広島大学病院感染制御部副部長と
森田薫氏

中区地域保健対策協議会同行研修打合せ会議

日時：8月11日(水) 午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「ボランティア研修室」

標記の会が開催された。

この研修は、医科の在宅における訪問診療に同行するこ

とにより、その現場における患者の状態や、様々な事象に対して理解を深めていくことを目的としたものである。な

お昨年は、新型コロナウイルス感染の影響を受け、事業そのものが中止となり、2年ぶりとなった。

鍛冶岡陽子中区役所保健師の司会進行の下、小西太中区医師会理事により、同行研修の趣旨と注意事項の説明が行われた。今回の同行研修は、指導者に小西理事をはじめ、河面智之中区医師会理事、橋本義政中区医師会理事があたり、受講生に歯科医師会より波田佳範中区支部長、薬剤師会より1名、土谷総合病院より、ソーシャルワーカー、看護師、理学療法士、栄養士の1名ずつ、計6名が受講することとなった。

受講参加者の日程調整が行われた後、新型コロナウイルス感

染の状況次第では、日程変更、中止もあり得るとの説明を受け会議を終了した。



打合せ会議の参加者

東区支部

運動と食事で元気じゃけんセミナー(糖尿病ストップ大作戦)

日時：7月29日(木)午後1時30分

場所：東区総合福祉センター 4階「ボランティア研修室」

標記の会が開催された。主催は広島市東保健センターで、東区内在住で昨年特定健診を受けられ、血液検査の項目で保健指導判定値(空腹時血糖 100-126mg/dL 未満または HbA1c5.6-6.5%未満)に該当する40-69歳の10名が参加した。今回のセミナーは医学編、栄養編、運動編に引き続く、第4回目の歯科編であり、東区支部の野村登志夫氏が、「歯周病と全身の病気の関係性：口腔ケアのポイント」と題し講演を行った。現在、6人に1人が糖尿病または糖尿病予備群である。糖尿病があると新型コロナウイルス感染時の重症化のリスクファクターも3.4倍に上昇する報告もあり、良好な血糖のコントロールが必要である。今回、糖尿病と深く関連性のある歯周病について、その成り立ちや現状について解説を行った。さらに糖尿病は歯周病になりやすく、歯周病は糖尿病を悪化させるという関係につい

て考察を加えた。最後に歯周病予防にはとしてセルフケアとプロフェッショナルケアの両方が必要であり、かかりつけ歯科医を持ち定期的な歯科受診の必要性について説明した。続いて吉田純子歯科衛生士により、実践的なブラッシング指導が行われた後に閉会した。



講演をする野村登志夫氏

東区在宅サポート研修会～ひがしの在宅支援隊～

日時：8月18日(水)午後6時30分

場所：オンライン開催(Zoom)

標記の会が広島市東区地域保健対策協議会によりZoomミーティングで開催された。金谷雄生東区医師会会

長の挨拶から始まり、「コロナ禍における在宅看取りについて」という演題にて事例発表が行われた。

事例1 患者 90才(女) 基礎疾患 不整脈 心房細動 慢性腎臓病 心不全

発表者 ニックス東居宅介護支援事業所 久浦芳子主任ケアマネジャー

事例2 患者 80才(女) 基礎疾患 パーキンソン病 発作性心房細動 心不全

発表者 太田川病院訪問看護ステーション 的場聡子所長

これらの事例に共通している点はコロナ禍の為、家族の面会制限があり患者が自宅療養を強く希望されていた事、また医学的無益性が考慮されていた点である。医学的無益性とは患者が生きる為に急性期病棟に完全に依存している状態を脱する事ができないケースでその治療は無益であるとみなされるべきであるという概念である。自宅療養を実現させる為、急性期病院主治医、かかりつけ医、薬剤師、訪問ステーション、看護ステーション、ケアマネジャーからなる多職種連携チームが結成された。家族の理解の確認、在宅での苦痛緩和の方法、状態悪化時の対応を重視したチームと家族による緻密な退院前カンファレンスが

行われ、患者の帰宅が実現された。両ケースとも残念ながら退院後約1か月で患者は永眠されたが、入院中全くしゃべらなかつた患者が帰宅後よくしゃべるようになり、死後行われた家族ケアの場において遺族から感謝がのべられた。

この後グループワークにて「コロナ禍における在宅での支援」について意見交換があり、益田浩東区地域保健対策協議会常務理事の総評に続き、久浦芳子ニックス東区居宅介護支援事業所主任ケアマネジャーが閉会の辞を述べ閉会した。なお本研修会には東区支部より竹本美保氏、岩井敏之氏が参加した。

会員ひろば

新入会員紹介



芥川桂一

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会いたしました芥川桂一と申します。

私は九州大学歯学部を平成25年に卒業後、広島大学病院での臨床研修を経て、栗原英見先生の主宰する歯周病態学講座(旧第二保存科)にて大学院を修了し学位を取得いたしました。その後、同講座出身の柴秀樹先生の主宰する歯髄生物学分野(旧第一保存科)に移り、助教として臨床・教育・研究を行って参りました。歯科医師歴9年目となりましたが、この度、縁あって南区皆実町にて「あくたがわ歯科クリニック」を開業することとなりました。現在は10月1日の開業に向け準備をしております。

また、私事ではありますが、皆様方へのご挨拶を考えております途中に、東京オリンピックの体操競技の中継を2歳半の息子が「ジャンプすごーい！」と目を輝かせながら見ておりました。自分自身は歯科治療でメダルを取るような飛び抜けた実力はありませんが、未来を担う子供達に希望を与えられる社会に、口腔の健康から少しでも貢献していければと考えております。

最後とはなりますが、入会・開業に際しまして歯科医師会の多くの先生方にご指導・ご助言いただき、深く感謝致しております。未熟者ではございますが、地域医療に貢献して参る所存ですので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

お知らせ

「妊婦歯科健康診査結果票」について（お願い）

9月3日(金)に**実施医療機関名の記載がない妊婦歯科健康診査結果票**が1件届きました。

西区己斐在住の36歳の方（個人情報の為お名前は控えさせていただきます）で、今年**8月6日**に**妊婦歯科健診を実施**されておりますが、**医療機関名が不明の為、手続きができません。**

お心当たりのある**歯科医院**におかれましては、事務局までご連絡ください。（[TEL:082-262-2662](tel:082-262-2662)）
何卒よろしくお願ひ申し上げます。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より

—こんな医療トラブルが起きています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。
なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：通院回数

齲歯の治療で歯科受診していた。数本の齲歯で数十回以上も通院している。治療が終わる目安を聞いても説明がない。広島県歯科医師会に電話をしたが、「歯科医師の判断によるものなので、こちらでは何とも言えない。」と言われてこちらのセンターを案内された。そんなに通院する必要性はあるのか。

（センターの対応）

当センターも治療回数の妥当性等の判断はできないと伝えたとこ、**「大きい病院の歯科を教えて欲しい。」**とのこと。大病院は個人病院の紹介がないと受診できないと伝えたが、**「選定療養費は払ってもいい。」**と強く希望された。歯科を有する病院の情報を伝えた。

（コメント）

歯科治療の場合、齲蝕の程度によって治療期間が長くなってしまうことはあります。

事前に、おおよその治療期間を説明するようにしましょう。

事例2：麻酔

歯科で、家族が半年以上治療を受けている。昨日、深く麻酔をかけますと言われ注射をしたら、顔半分が痺れた。歯科医師から脳梗塞の疑いがあるので、救急車を呼びましょうと言われたが、家族は様子を見ますと言って帰宅し、数時間して痺れは治った。治療期間の長さといい、不信感がある。この歯科医院に指導してほしい。

（センターの対応）

今、顔の腫れはいかがか。「ないと思う。」とのこと。当センターは治療の是非は判断できない。治療内容のことであれば、対応は分からないが、広島県歯科医師会で話が聞けると思うと伝え、連絡先を案内した。

（コメント）

詳細ははっきりしませんが、診療に際しては起こりうる可能性、万が一トラブルが起きた際の対処についても説明するようにしましょう。

令和2年度学校保健統計調査 ～広島県の12歳児DMFTは0.7～

文部科学省は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、学校保健統計調査を昭和23年度より毎年実施している。今般、令和2年度学校保健統計調査の確定値が公表された。本調査は例年4月1日から6月30日までに実施される健康診断に基づき12月に結果が公表されるが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により健康診断を当該年度末まで実施することとなり、そのため調査期間も年度末まで延長されるという経緯があったことから、この度の公表となった。以上より、本集計結果は成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することができないことに関してはご留意いただきたい。

中学校1年生のみを調査対象とする「永久歯の一人当たりの平均むし歯等数(12歳児DMFT)」は、前年比0.6を上回る0.7となり、全国値0.68とほぼ同等の結果となった。これは、統計がある平成18年度以降では初のことである。全国では漸減しているものの、県内では増加が認められたことから、広島県内において新型コロナウイルス感染症の蔓延を巡る歯科受診率の低下等の背景が口腔内環境に少なからず影響を及ぼしたのではと推察された。前述のように例年と単純比較することはできないが、今後も注視する必要があると考えられる。(図1)

広島県内における学校種別う歯被患率は、昨年と同様に全ての校種で前年値を下回り、中学校以外は過去最少であるが、こちらも例年との単純比較は困難である。(図2)

年齢別のう歯被患率は、例年通りN字型を示しており、8歳がピークとなっている。これは、乳歯から永久歯への交換期であるためと考えられる。昨年度に続き、今年度も全ての年齢で全国値を下回った。(図3)

歯肉炎の被患率は、例年同様に小学校高学年から急速に立ち上がり、全国値を上回った。中学校以降は全国値を上回る高水準で推移している。(図4)

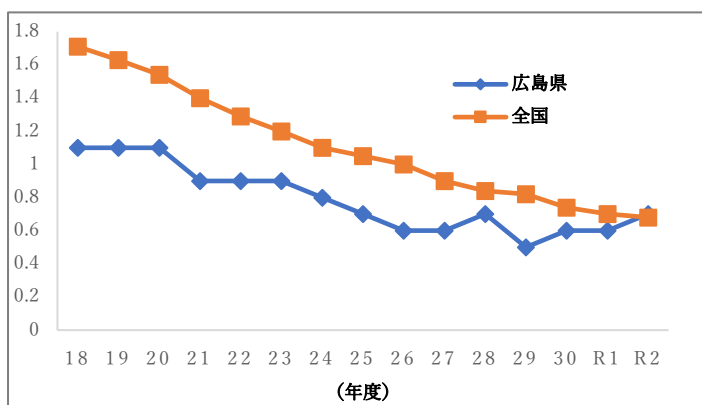


図1：12歳児DMFTの年次推移

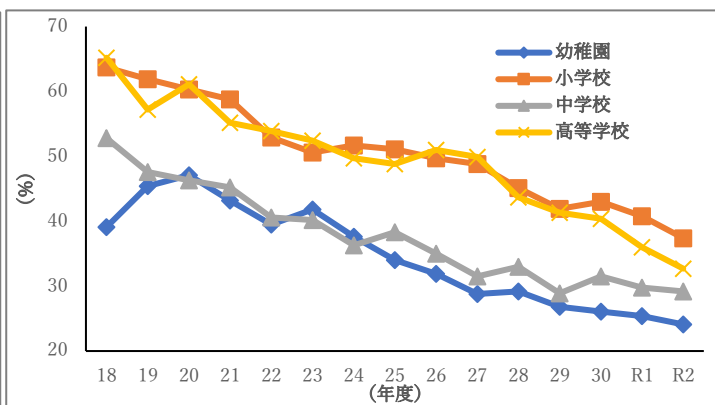


図2：広島県内における学校種別う歯被患率の年次推移

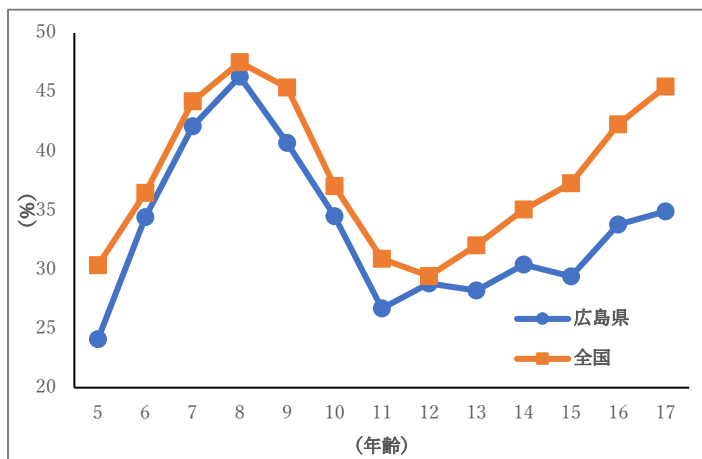


図3：う歯の被患率(年齢別全国との比較)

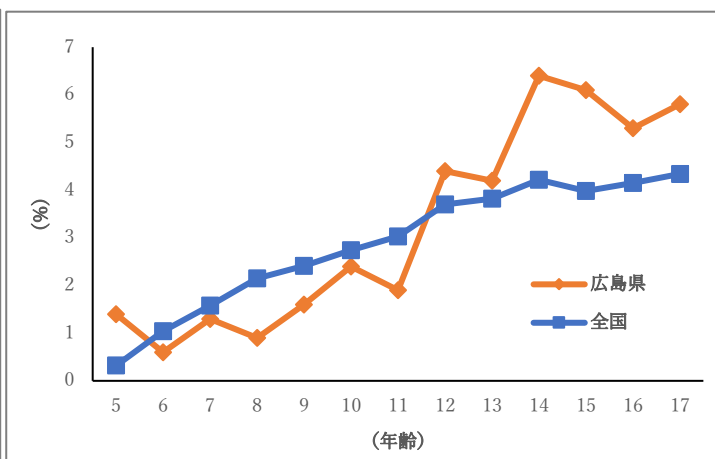


図4：歯肉炎の被患率(年齢別全国との比較)

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QRコード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



新型コロナウイルスゲノムデータへのオープンアクセスを提供している世界的科学イニシアチブ GISAID(Global Initiative on Sharing Avian Influenza Data)

<https://www.gisaid.org/hcov19-variants/>



今月の知っておきたいこと

▼国内で新たに2万1569人感染、「軽症」判断後に急変・死亡例も

読売新聞 (2021年8月25日)

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210824-OYT1T50163/>

国内の新型コロナウイルス感染者は24日、全都道府県と空港検疫で新たに2万1569人が確認された。重症者は前日から37人増えて1935人となり、12日連続で過去最多を更新した。死者は42人だった。



▼ワクチン接種「妊婦を優先」、厚労省が自治体に通知

読売新聞 (2021年8月25日)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210824-OYT1T50096/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルスに感染した千葉県の子が自宅療養中に早産し、新生児が死亡した問題を受け、厚生労働省は各自治体に、妊婦のワクチン接種を早期に円滑に進めるため、予約で優先するなどの配慮を求めた。23日付文書で通知した。



▼「ありがとう」を1日100回以上言い続けた歯科医院長の真意

幻冬舎 (2021年8月24日)

<https://gentosha-go.com/articles/-/36642>

一般的に、歯科医院に居心地の良さを感じる人は少ない。できれば通いたくないと、足を遠ざける人がほとんどだ。『立川デンタルクリニックすずき』の院長である鈴木博貴氏は、歯科医院をもっと快適に過ごせる場所にしていこうと考えた。人気のテーマパークやホテルからヒントを得たという、歯科



医院を魅力的な場所に変えるためにおこなった“身近な取り組み”について紹介してもらう。

▼コロナワクチン開発状況を公開 厚生労働省

medical-tribune (2021年8月24日)

<https://medical-tribune.co.jp/news/2021/0823538061/>

厚生労働省は本日(8月20日)、国内の新型コロナウイルス(SARS-2-CoV)ワクチン開発の進捗状況に関する情報を更新し、公式サイトに発表した。国内で開発中のものは5製剤。アンジェス/大阪大学/タカラバイオによるDNAワクチンは、昨年(2020年)12月に第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験を、高用量の同ワクチンは今月、第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験をそれぞれ開始。残る4製剤は今年中に第Ⅲ相試験を開始するとしている。



▼デルタ株で懸念させる「子どもから子どもへの感染」可能性は！?

TBS (2021年8月24日)

https://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye4342785.html

まもなく新学期スタートという学校も多いと思いますが、東京では10歳未満の陽性者数がデルタ株の置き換わりと共に増えています。

そんな中、懸念されるのが「子ども」から「子ども」への子ども同士の感染です。

デルタ株はこれまでよりもウイルス量が多いとされており子ども同士の接触にも注意が必要です。

またこうした懸念がある中、夏休みの延長が議論されています。子どもたちの新学期はどうなっていくのでしょうか? 専門家に聞きました。



▼職場で感染者が出た。保健所には頼れない。そんな時、どうする？

Buzzfeed (2021年8月24日)

<https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/covid-19-wada-27>



ニュースピックアップ

▼ファイザー製ワクチンの3回目接種、イスラエルが8月から実施…デルタ型拡大受け

yomiDr. 2021年07月30日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210730-OYT1T50345/?catname=news-kaisetsu_new

イスラエルのナフタリ・ベネット首相は29日、60歳以上を対象に、米ファイザー製の新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種を8月1日から実施すると発表した。インド型(デルタ型)による感染が拡大していることを受けたもので、世界初の取り組みとなる。

◎変異株の出現により感染の再拡大が起きています。各国で3回目の接種が承認され、「ブースター効果」が期待されています。



▼アストラゼネカワクチンの副反応など調査 協力者公募 厚労省

NHK NEWS WEB 2021年8月18日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210818/k10013209301000.html?utm_int=news-new_contents_list-items_038

今月公的な予防接種に追加されたアストラゼネカの新型コロナウイルスのワクチンについて、厚生労働省は接種後の副反応などを調べるため調査に協力してくれる人を公募しています。アストラゼネカのワクチンはこし5月に承認されましたが、極めてまれに血栓が生じるリスクがあると指摘され、厚生労働省は今年3日、必要性がある場合を除いて原則40歳未満の人に接種しないことを条件に公的な予防接種に追加しました。

◎副反応として血栓ができるなどの症状があげられていますが、新しいワクチンのためにまだ不明な点も多いようです。リスクがはっきりすれば対処方法も決まるので調査が進むことを望みます。



▼無症状陽性、1割止まり 感染把握が不十分か

THE SANKEI NEWS 2021年8月18日

<https://www.sankei.com/article/20210818-KUP7HERNONI27NH7QLY4P66MLM/>

感染が急拡大する新型コロナウイルスの第5波で、東京都の検査で陽性確認時に無症状の人が約1割にとどまっている。本来は無症状の感染者は3割程度いるとされるため、感染者が一部しか把握できていないことになる。保健所による濃厚接触者の調査が滞っていることが原因とみられる。

◎無症状感染者が自分で気づかない間に他の人に感染させている可能性があるということを忘れないで、気を抜かず、どこでも基本的な感染対策をきっちり行いましょう。



全国で感染拡大に歯止めがかからない新型コロナウイルス。

職場での感染も他人事ではなくなっているが、感染者が増え過ぎて業務に追われる保健所には頼れなくなっている。あなたの会社で感染者が出たら、どう対応したらいいのかわかるか。

最近、企業からそんな相談が増えている国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授の和田耕治さんに聞いた。

▼NY医療従事者に接種義務 新型コロナワクチン

THE SANKEI NEWS 2021年8月17日

<https://www.sankei.com/article/20210817-NGAHDSE2C5J73DFKTL6ZRTUNXM/>

米東部ニューヨーク州のクオモ知事は16日、州内全ての医療従事者や高齢者施設の職員に対し、新型コロナウイルスワクチンの1回目を9月27日までに接種することを義務付けると発表した。クオモ氏は声明で「州内の1日当たりの新規感染者数は6週間前の10倍超に増え、最近の感染者の80%超は感染力の強いデルタ株だ」と強調、感染再拡大を止めるよう呼び掛けた。

◎ニューヨークでは、医療従事者へのワクチン接種が義務化されました。ニューヨーク州と西部カリフォルニア州は7月末、州職員にワクチン接種か毎週の検査を義務付けられており、ワクチン接種の義務化を推進している州もあります。これについては、反対意見も根強く、非常に難しい問題かと思えます。



▼抗体カクテル療法実施へ 大阪府

THE SANKEI NEWS 2021年8月17日

<https://www.sankei.com/article/20210817-EDZBMVYKV5LE5AU46F4F2D3ZFY/>

大阪府の吉村洋文知事は17日、新型コロナウイルスの重症化防止に効果がある点滴薬「抗体カクテル療法」の投与を進めるため、府内の宿泊療養施設1カ所を、今月中に臨時の医療施設として整備する方針を明らかにした。府は新型コロナ特別措置法に基づき、宿泊療養施設のうち1カ所を医療施設として指定。医師らによる往診や経過観察、点滴が打てる体制を整備し、抗体カクテル療法を実施する。

◎吉村知事は、軽症者を早期に入院させ、抗体カクテル療法で症状が安定した後に宿泊療養施設に移送するための「連携型病院」を指定することも表明し、「(臨時の医療施設と)2つの方法で重症化を防ぎたい」と述べたそうです。全国的に参考になる試みではないでしょうか。今後要注目です。



▼集団接種で使用の注射針数十本、一般ごみに…人の手の指に針が刺さる

yomiDr. 2021年8月8日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210807-OYT1T50218/?catname=news-kaisetsu_news

滋賀県守山市は6日、新型コロナウイルスワクチンの集団接種で使われた注射針数十本が一般ごみに交ざり、ごみ置き場で人の手の指に刺さる事故があったと発表した。被害者に健康被害は今のところないという。



◎どんなに気をつけていてもミスは起こるものですが、それをいかに減らしていくか。接種する前の準備から後始末まで、誰でもわかりやすくできるようにシステム化する必要があると考えます。

▼歯科医院狙う詐欺未遂 長岡で相次ぐ 団体職員名乗りブレイカー購入勧誘



新潟日報 2021年8月11日

[https://www.niigata-](https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20210811634735.html)

[nippo.co.jp/news/national/20210811634735.html](https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20210811634735.html)

電力会社の関連団体や企業の職員を名乗る人物が、配電盤などの点検を名目に訪れ、金をだまし取ろうとするケースが、新潟県長岡市内の歯科医院で相次いでいることが10日分かった。関係機関が注意を呼び掛けている。

◎電力会社の関連団体を名乗る人物から、「配電盤の点検が必要」との電話があり、その後、歯科医院を訪問、最終的にブレイカーの購入を勧誘するケースが多いようです。警察は「不審な電話があったら警察に通報してほしい」と呼び掛けているそうです。

▼院長、飲酒後に出産手術 新生児が一時重篤—愛知



JJI.COM 2021年8月5日

<https://www.jji.com/jc/article?k=2021080500615&g=soc>

愛知県豊橋市の産婦人科・小児科クリニックの男性院長(68)が、飲酒後に出産手術をしたとして、市保健所が院長に改善を求めていることが5日、分かった。生まれた男児の40代父親＝同市＝によると、出産直後に心肺機能が低下するなど、一時生命が危ぶまれる状態となり、別の病院に搬送されたという。

◎まさか、本会会員の中に酩酊状態で診療に当たる先生はいないですね。近年は動画撮影やSNSの普及からトラブルに遭遇する危険が増加していますので、気を引き締めましょう。

▼千葉県内RSウイルスが猛威 コロナ対策で免疫得られず？都市部の感染目立つ1週間で千人、過去最多



千葉日報 2021年8月9日

<https://www.chibanippo.co.jp/news/national/819786>

乳幼児の肺炎や気管支炎の原因となるRSウイルス感染症が千葉県内で猛威を振るっている。県衛生研究所によると、県内134の定点医療機関から7月12～18日に報告された感染者数は1129人に上り、1週間の感染者数としては現在の集計が始まった2003年11月以降、過去最多となった。

◎専門家によると、新型コロナウイルス対策の徹底によって、昨年のRSウイルス感染者数が減り、十分な免疫を獲得できなかった子どもが増えたのが原因という見方が濃厚ようです。さらに、インフルエンザなど昨年流行しなかった他の感染症についても、反動で今後流行が昨年以上に拡大する可能性があるという指摘しているようです。

▼自宅療養中の妊婦 受け入れ先見つからず早産で新生児死亡



NHK NEWS WEB 2021年8月19日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210819/k1001321112_1000.html

新型コロナウイルスの首都圏での医療体制が危機的な状況となる中、自宅療養中の妊婦が入院調整が行われたものの受け入れ先が見つからず、そのまま自宅で出産し、赤ちゃんが亡くなったことが関係者への取材で分かりました。産婦人科医らのグループは緊急の会議を開き、感染した妊婦の急な出産に備え、事前に受け入れ先を決めておくことを確認しました。

◎新型コロナウイルスに感染した妊婦といえども、あつてはならないことですね。まだまだ先が見えないコロナウイルス感染症ですが、早急な対策が望まれます。

▼厚労白書「出生数の減少を懸念」… 感染拡大の生活への影響分析



yomiDr. 2021年07月30日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210730-](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210730-OYT1T50149/?catname=news-kaisetsu_news)

[OYT1T50149/?catname=news-kaisetsu_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210730-OYT1T50149/?catname=news-kaisetsu_news)

政府は30日、2021年版の厚生労働白書を公表した。「新型コロナウイルス感染症と社会保障」をテーマとし、新型コロナが国民生活に与えた影響を分析したのが今回の特徴だ。白書では、自粛生活の影響で20年の婚姻件数や妊娠届け出数が減少したことを挙げ、「感染拡大による出生数の減少が懸念される」と指摘した。高齢者の交流機会の減少による認知機能の低下や、家庭内暴力(DV)の相談件数の増加傾向などにも懸念を示した。

◎新型コロナウイルス感染症の社会的な影響が非常に大きいことが示され、問題が長期的に継続することが懸念されます。

▼降雨域外で「黒い雨に遭った」4人が新証言 爆心地西側30キロで



毎日新聞 2021年8月5日

<https://mainichi.jp/articles/20210805/k00/00m/040/419000c>

広島への原爆投下後に降った「黒い雨」を巡り、降雨が確認されていなかった爆心地の西側約30キロの地域で、新たに4人が「黒い雨に遭った」と毎日新聞の取材に証言した。過去3回実施された専門家らによる調査のいずれでも「降雨域外」とされていた地域。降雨域外の証言は、黒い雨被害者の支援団体や広島県・市もこれまで確認しておらず、明らかになるのは初めてとみられる。

◎この4人が本当に黒い雨に遭っているのなら、当然支援すべきですが、「76年もたった今、なぜ？」と感じるのは私だけではないでしょう。因みに私の母親もこの4人と同じ国民学校で、朝礼中だったと言っていました。黒い雨の話はしませんでした。



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

9月1日放送分

「2回目接種後の体調変化」

広島市歯科医師会 水内 裕之氏

歯科医師も医療従事者として、新型コロナウイルスに対するワクチンを順次接種しました。これから接種する方々に対して、少しでも疑問の解消に役立つように、ワクチン接種体験を紹介してきました。今回は最終回で、2回目のワクチン接種後の体調の変化について、広島市歯科医師会の歯科医師、水内裕之さんが話します。

9月15日放送分

「知覚過敏」

広島市歯科医師会 鈴木良貴氏

冷たいものを食べたり飲んだりした時や、歯ブラシの毛先が歯に触れた時に、痛みを感じたことはありませんか。このような症状を知覚過敏といいます。今回は知覚過敏について、広島市歯科医師会の歯科医師、鈴木良貴さんが話します。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録お願いします

7月7日放送分

「新型コロナウイルスワクチン接種体験談」

広島市歯科医師会 田中尊治氏、鈴木良貴氏、水内裕之氏

<https://youtu.be/GVSI1cLJaU8>



7月21日放送分

「ドライマウスに気を付けて」

広島市歯科医師会 小林裕子氏

<https://youtu.be/cq0wqt2mAJk>



感染対策の基本はしっかりと！

広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



広島市歯科医師会作成 アニメーション「ハハ姉妹」完成しました

いつもゆかいなハハ姉妹が日常生活の中で分かりやすくお口にまつわるちょっと役に立つ話を色々教えてくれます♪

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLyf4zcYp6dvghisn8nQlsotsZC6ZFFs3q>



広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第 23 回～ サデクリオチルってなんだ??

二葉里志さんのクリニックの待合室は今日も多くの患者さんで賑わっています。80 歳代の女性患者Aさんは怖がりなので、メンテナンスには応じませんが、口腔内のトラブルが起きるたびに二葉さんのクリニックを訪れます。チェアに案内するなり、Aさんはマシンガントークで説明を始めます。「上の入れ歯を留めている糸切り歯が何かこう、サデクリオチそうで不安なんです。どうかして下さい。先生～！」。

二葉さんはカルテを見ながら(左上 3 番は残存歯で・・・上顎義歯の鉤歯にしていたな・・・)と、確認しましたが、どうも「サデクリオチそう」が理解できません。「糸切り歯がどうしましたか？」Aさんに尋ねます。ところが、よく聞こえなかったと判断したAさんは、今度はクリニック中に響くような大きな声で「サデクリオチそうなんです!」・・・。

広島県内の高齢者の多くが「転げ落ちる」や「滑り落ちる」のひどい場合に「サデクリオチル」を使います。Aさんの上顎前歯部はオーバージェット、オーバーバイトが著しい咬合で、上顎の義歯もそれに合わせて作られています。中でも鉤歯である左上 3 番は挺出が著しく、動揺もみられます。こんな様子から、Aさんは「歯が抜け落ちそうなの」の意味でサデクリオチルを使ったんですね。

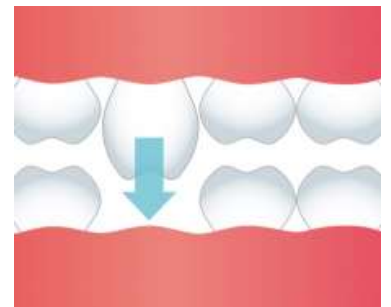
出雲弁ではサデ＝「強く・ひどく」の意味で使い、サデボロケルが広島弁のサデクリオチルに当たるようです。お隣の鳥取県西部ではサデクル＝「滑る・滑り落ちる」の意味で使われているそうです。鳥取県人が広島弁のサデクリオチルを耳にすると、「滑り落ち・落ちる」という意味に取るのでしょうか？ まるで「馬から落ちて落馬して」のような重言ですね。重言というと、「いにしえの昔の武士のさむらいが 山の中なる山中で 馬から落ちて落馬して 女の婦人に笑われて 赤い顔して赤面し 家に帰って帰宅して 仏の前の仏前で 短い刀の短刀で 腹を切って切腹した」が有名です。

筆者の亡き母はサデクリオチルをよく使っていましたが、「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編には記載がありませんでした。一方で、ネット上の多くの広島弁辞典には記載がありましたので、母の造語ではなさそうなので安心しました(笑)。

こうして二葉さんは広島弁のスキルをまた一つ上げました。きっと明日からの臨床に役立つことでしょう(?)

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。



新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2021年8月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2021年8月1日～8月31日)

世界・日本での経過	2021年	広島市歯科医師会での対応
緊急事態宣言 今日から首都圏3県と大阪も追加 国内累計感染者数 926,595人 世界累計感染者数 196,553,009人	8月1日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
東京都と3つの大学連携 夏休み中に接種会場開設	8月2日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
河野担当大臣 アストラ社製ワクチン 緊急事態宣言発出地域に優先的に配送	8月3日	
	8月4日	令和3年度広島市保育園歯科健診の再開について案内(FAX)
東南アジア感染拡大が深刻化 デルタ株が猛威	8月5日	
群馬県民間PCR検査で200人分誤って陽性	8月8日	
半年後の冬季五輪控えて 北京で移動制限強化 国内累計感染者数 1,055,089人 世界累計感染者数 202,608,306人	8月10日	
政府分科会 今後2週間人流を約5割削減が必要と提言	8月12日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
米CDC 免疫力が低下した人へ新型コロナウイルスワクチンの追加接種の推奨を決定	8月13日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
東京パラ 全会場での無観客を決定	8月16日	
政府7府県に緊急事態宣言発出へ	8月17日	
コロナワクチン“接種後に健康被害” 29人に救済認定	8月19日	
国内累計感染者数 1,257,833人 世界累計感染者数 209,876,613人	8月20日	
東京都 自宅療養者向け「酸素ステーション」を週明けに開設へ	8月21日	
	8月22日	歯科医師によるワクチン接種に係る協議
台湾 “独自開発ワクチン”接種開始 外国提供も視野に	8月23日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
厚労省 抗体カクテル療法 外来診療での使用も検討	8月24日	こども家庭支援課との協議 歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
	8月25日	令和3年度定期健康診断(学校歯科健診)の再開について案内(FAX) 歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
モデルナ社製ワクチンに異物混入で約160万回分の使用中止 金属片か	8月26日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議 歯科医師によるワクチン接種に係る広島市との協議
緊急事態宣言 広島含む8道県追加	8月27日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議 令和3年度広島市乳幼児集団健康診査の休止について案内(FAX)
米 ワクチン接種義務化に1,000人以上“反対デモ”	8月29日	
国内累計感染者数 1,473,183人 世界累計感染者数 214,468,601人	8月30日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
東京医科歯科大学研究チーム デルタ株の新たな変異 国内で確認	8月31日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議 令和3年度定期健康診断(学校歯科健診)の再開について案内(FAX)

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体
※以前のものは前号参照

柔しく剛く

緊急事態宣言と
各種健診事業について
熊谷 宏

本稿執筆時点で、広島県において8月27日より9月12日の予定で緊急事態宣言が発令されました。本年5月から6月にかけて適用されて以来3回目となります。

今回は、本年2月号の本コラムでも触れた各種歯科健診への対応について、ご報告いたします。

これまで緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、集中対策期間などが発令されるたびにその対応にあたってきました。

行政と広島市歯科医師会との連携により行う歯科健診には、市立学校における春・秋・就学时歯科健診(広島市教育委員会健康教育課)、公立・私立保育園や認定こども園等における定期健康診断(広島市こども未来局保育指導課)、1歳6か月児及び3歳児集団健康診査(広島市こども未来局こども・家庭支援課)がありますが、それぞれの担当行政部署と協議をしなければなりません。加えて、広島市域の事業であることから、安佐・佐伯・安芸歯科医師会との連携も必要です。

まず理解すべきは、これらの健康診断の殆どが乳児及び幼児・児童生徒らの心身の健康の保持増進を図るために、学校保健安全法や母子保健法を始めとする法律等により実施することを義務付けられたものであるということです。

したがって、我々は歯科医師法の理念及び歯科医師会会員としての責務の観点からも、新型コ

ロナウイルス感染症の拡大の場面であっても、万全の感染対策の元で、健診の実施に向けて医師会等との歩調も考慮しながら最善の努力をする必要があります。

とはいえ、会員の安全を守り会員の不安に寄り添う立場から、私はこれまで広島市歯科医師会会長として行政担当部署に対して、あるときには厳しく健診の中止や延期を訴え実現してきました。

今回の緊急事態宣言の再度の発令に際しては、行政からの通知・告示、過去の対応や感染状況に加え、①当感染症に関する理解の進展②歯科医師および国民のワクチン接種の進捗状況③いわゆる変異株の影響なども勘案しながら対応を考える必要があります。

昨年春の感染初期段階においては、当感染症に対する理解も不十分な状況で、エアロゾルが発生する歯科診療の中止やメンテナンスの延期、中には休診等の対応をとった医療機関も数多くありましたが、昨今では感染症に対する理解や感染対策の徹底などが周知され実行される中で、多くの歯科診療所が通常の診療を続けている現状なども考えなければなりません。

かかる観点から、今回の緊急事態宣言発令に際し、学校健診については広島市教育委員会に対して一律延期を強く申し入れましたが、先にご案内した通り校内の

感染状況や地域の流行などを考慮し、学校歯科医と学校が協議して必要なら延期を検討するということとなりました。学校歯科医の先生方には、嘱託歯科医の先生方の意見も参考に、少なくとも宣言発令中は躊躇なく中止を進言されて結構です。

1歳6か月児及び3歳児集団健康診査については、宣言発令中は市民への周知期間を除き一時中止としました。昨年実施した個別健診も考慮しましたが、感染拡大、先日の大雨災害の対応等でパンクしている各区保健センターの事務負担がさらに増えることや集団健診の意義などを勘案し今回は見送りました。しかし、健診の中止によって虐待の可能性のある幼児の保護ができないことや、1歳6か月児は半年延期されると2歳になってしまうことなど大きな弊害があります。宣言が解除されれば、可及的速やかに再開できるよう準備する予定にしております。

先生方に置かれましては、不安な状況の中ご苦勞をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

8月定例理事会報告

「部外報告」

7月31日 歯科医師国保組合組合会・互助会総代会
8月1日 (県歯)施設基準研修会
8月2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
" 広島市歯科医療福祉対策協議会会計監査
8月10日 (県歯)新規指導面談
8月12日 新規個別指導立会
8月19日 国保連合会歯科再審査部会
8月19-25日 社会保険診療報酬支払基金審査
(25日合議中止)
8月20日 (県歯)会員面談
8月20-24日 広島県国保連合会歯科審査部会
8月24日 こども家庭支援課との協議

(連盟関係)

「総務関係」

8月4日 広島市歯科医師会保険講習会(1回目)
8月6日 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭
8月7日 B型肝炎ワクチン接種(1回目)
8月18日 広島市歯科医師会保険講習会(2回目)
" 第3回支部長・副支部長会
8月22日 【LINE協議】歯科医師によるワクチン接種に係る協議
8月23日 三役会
8月25日 定例理事会

(慶弔関係)

8月13日 南区支部 有馬隆先生 広島市長表彰
(保健医療事業功労)
" 広島市学校保健功労者表彰
東区支部 能美和基先生
西区支部 石田栄作先生
" 永年勤務学校歯科医に対する感謝状授与
中区支部 平野隆司先生
東区支部 平岡弘光先生

(入会退会関係)

8月17日 入会前面談(柄慎太郎先生)
8月23日 西区支部 楠橋由規先生入会

(県歯理事会関係)

8月5日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

8月2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
8月4日 広島市歯科医師会保険講習会(1回目)
8月6日 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭
8月7日 (県歯)新規指導面談
8月11日 定例委員会
8月12日 (県歯)保険部常任委員会
8月17日 入会前面談(柄慎太郎先生)
8月18日 広島市歯科医師会保険講習会(2回目)
8月19-24日 社会保険診療報酬支払基金審査

(25日合議中止)

広島市歯科医師会保険講習会出席者数集計
休日診療保険請求における留意事項について

(2) 学術部 (花岡理事)

8月6日 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭
8月20日 定例委員会

(3) 厚生部 (谷理事)

7月29日 原爆死没者慰霊祭打合せ
8月4日 広島市歯科医師会保険講習会(1回目)
8月6日 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭
8月19日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

8月6日 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭
8月20日 【Web会議】定例委員会

<地域保健> (若林理事)

8月4日 広島市歯科医師会保険講習会(1回目)
8月11日 (県歯)地域保健部常任委員会
8月24日 (県)8028達成者表彰2次審査
・おくちの健康展について

<地域連携> (藤田理事)

8月5日 令和3年度広島県地域リハビリテーション専門職等基礎研修 事前収録
8月22日 令和3年度広島県地域リハビリテーション専門職等基礎研修
" 【LINE協議】歯科医師によるワクチン接種に係る協議

<学校保健> (石田理事)

7月30日 令和3年度広島市学校保健会第2回理事会及び表彰審査委員会

(5) 広報部 (水内理事)

8月3日 【Web会議】校正委員会(だより8月号)
8月4日 広島市歯科医師会保険講習会(1回目)
8月6日 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭
8月19日 FMちゅーピー収録
8月20日 【Web会議】情報調査委員会

FMちゅーピー (新聞掲載)

9月1日 新型コロナワクチン接種体験談
広島市歯科医師会
田中尊治氏、鈴木良貴氏、水内裕之氏
9月15日 「知覚過敏について」
広島市歯科医師会
鈴木良貴氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,507 (累計 186,905)

ページビュー 24,950 (累計 1,092,908)
会員サイト 訪問者 243 (累計 32,892)
ページビュー 1,275 (累計 235,278)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 71 件(7/21~8/20)
LINE 公式アカウント 登録者数
8月20日 96名

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

8月 2日 相談 会員診療所の対応について
(40歳代男性)
8月 13日 相談 在宅訪問歯科健診の費用について
(50歳代女性)

「協議事項」

(1) 入会について(2名)
中区支部の柄慎太郎氏の入会について承認
南区支部1名継続審議中。

- (2) クリスマスパティー代替事業について
協議・継続審議
- (3) 令和4年新年互礼会について
協議・継続審議
- (4) 広島東洋カープ観戦の集いについて
報告
- (5) 学校歯科保健対策事業における補助金申請について
協議・寄贈内容について確認
- (6) 令和3年度学校歯科医協議会について
協議・内容確認
- (7) おくちの健康展について
確認・継続審議
- (8) 新型コロナウイルス感染症について
だより号外発行について確認
- (9) 特別委員会の設置について
内容確認・可決
- (10) 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会について
議案について内容確認
- (11) 緊急事態宣言発令への対応について
確認・継続審議
- (12) その他
なし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net
広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用の LINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

友だち登録方法

QR コードで登録する方法

LINE アプリの「友達追加」画面から
「QRコード」を選択。
右のQRコードを読み込んで登録。



登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

LINE の ID 検索で登録する方法

LINE アプリの「友だち追加」画面から「検索」を選択。ID で「@698zzkzc」を検索して登録。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

6月 7日配信	節目年齢歯科健診の受診率向上に向けたラジオCMのお知らせ
6月14日配信	コロナワクチン優先接種について
6月25日配信	ワクチン接種と歯科治療、2021年7月8月の祝日が移動
6月28日配信	9月1日より磁性アタッチメント義歯が保険適用
7月 5日配信	ワクチン接種済の人に対しても新たに接種券が送られてきている件について
7月 7日配信	施設基準の定例報告(71報告)をお忘れなく！
7月13日配信	歯科啓発リーフレット作成
7月16日配信	本会外部監事篠原敦子氏ラジオ出演のお知らせ
8月 6日配信	医療広告規制におけるウェブサイトの事例解説書(厚労省)
8月11日配信	広島県歯科医師会 動画「かみかみ百歳体操」、広島市も期間限定で「かみかみ百歳体操(広島市版)」を公開